

## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社アズジェント 上場取引所 東  
 コード番号 4288 URL <http://www.asgent.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 隆洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 葛城 岳典 TEL 03-6853-7401  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	632	△20.2	△84	—	△82	—	△53	—
26年3月期第1四半期	792	△4.9	5	△86.6	8	△80.9	2	△92.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△13.77	—
26年3月期第1四半期	0.65	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,424	1,873	77.2
26年3月期	2,594	1,963	75.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,871百万円 26年3月期 1,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	1.0	△150	—	△150	—	△90	—	△23.27
通期	3,600	7.7	30	162.8	30	62.7	10	—	2.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期1Q	3,959,500株	26年3月期	3,959,500株
27年3月期1Q	127,800株	26年3月期	92,100株
27年3月期1Q	3,855,357株	26年3月期1Q	3,902,000株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続が実施されております。この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、消費税増税や原材料・エネルギーコストの上昇など、経営環境に影響を与えるリスクは依然として存在するものの、政府が打ち出した経済・金融政策により、緩やかな回復基調で推移してきました。一方、世界経済は、新興国経済の成長減速やウクライナ情勢等による海外景気の下振れなど、全体としては流動的な状況が続きました。

ネットワークセキュリティ関連においては、WEBサイト改ざんやクレジットカード情報及び個人情報の流出、不正送金などの報道が日常化しております。そのような中、4月には日本企業を狙った新種のサイバー攻撃の登場が報じられるなど、セキュリティ脅威は多様化し、被害の深刻度も増しております。政府や官公庁も追加的な対応策を講じる動きを見せており、ネットワークセキュリティの重要性がより一層高まっております。

このような環境の下、強固な財務体質を背景に、当社はビジネス環境の変化に対応し中長期的な成長基盤を確実にするために、収益構造変革（商品販売ビジネス主体から、当社コンサルノウハウを生かした商品組合せ型サービスビジネス主体への変革）に伴う先行投資を、前年同様に引き続き推進しております。

当第1四半期の主な取り組みとして注力したのは、アズジェントが提供するセキュリティオペレーションセンター（SOC）によるサービスを組み合わせた24時間365日体制のネットワーク監視・運用支援サービス「セキュリティ・プラス マネージド・セキュリティ・サービス」の監視サービスメニュー拡充です。具体的には、5月にセキュアソフト社の提供する侵入防御システム「SecureSoft Sniper IPS」を、6月にはトレンドマイクロ社の組織内のネットワークを監視し脅威を検知する「Deep Discovery Inspector」を監視対象に加えしました。さらにクラウド関連では、6月にサイトロック社とアマゾン ウェブサービス（以下、AWS）向けクラウド運用サービスで協業を開始しました。この協業により、AWSをセキュアに使いこなすためのコンサルティングパートナーとして、セキュアなクラウド運用を実現すべく共同で様々な取り組みを実施していきます。

業績につきまして、売上高については、前年同期に大型案件があったため、632百万円（前年同期比20.2%減）となりました。利益面については、「セキュリティ・プラス」の早期立上げのための体制強化、マーケットでのポジショニング強化のためのプロモーション等を期初より計画通り実施したため、営業利益▲84百万円（前年同期比-）、経常利益▲82百万円（前年同期比-）、四半期純利益▲53百万円（前年同期比-）となりました。尚、サービスビジネスの本格的な収益貢献は、今期後半以降の見通しです。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額は2,424百万円となり、前事業年度末に比べ170百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が92百万円、売掛金が328百万円減少した一方、前渡金が216百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は551百万円となり前事業年度末に比べ80百万円減少しました。これは主に、買掛金が101百万円、賞与引当金が15百万円減少した一方で、未払費用が4百万円、未払金が7百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計の1,873百万円については前事業年度末に比べ89百万円減少しました。これは主に、四半期純損失53百万円の計上、自己株式の取得17百万円、配当金の支払19百万円があったことなどによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月16日付「平成26年3月期決算短信（非連結）」にて公表した通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,142,677	1,049,701
売掛金	914,322	585,325
商品及び製品	34,059	31,169
仕掛品	663	1,386
前渡金	456	216,703
前払費用	25,462	36,233
繰延税金資産	19,128	48,464
その他	41,213	40,656
貸倒引当金	△27	△17
流動資産合計	2,177,955	2,009,624
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	48,969	54,131
工具、器具及び備品(純額)	191,018	179,660
土地	1,854	1,854
有形固定資産合計	241,843	235,646
無形固定資産	43,685	50,115
投資その他の資産	131,414	129,349
固定資産合計	416,943	415,111
資産合計	2,594,898	2,424,736
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	297,357	195,602
短期借入金	50,000	50,000
未払金	109,252	116,713
未払費用	29,932	34,423
未払法人税等	3,392	4,942
未払消費税等	9,384	—
前受金	273	1,363
預り金	5,112	9,019
前受収益	4,368	5,723
賞与引当金	36,387	21,331
その他	828	24,624
流動負債合計	546,288	463,746
固定負債		
退職給付引当金	84,904	87,282
固定負債合計	84,904	87,282
負債合計	631,193	551,028

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	771,110	771,110
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	525,031	452,598
自己株式	△40,226	△57,541
株主資本合計	1,961,114	1,871,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	△243
評価・換算差額等合計	6	△243
新株予約権	2,584	2,584
純資産合計	1,963,705	1,873,707
負債純資産合計	2,594,898	2,424,736

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	792,928	632,382
売上原価	520,272	410,626
売上総利益	272,655	221,756
販売費及び一般管理費	266,805	306,449
営業利益又は営業損失(△)	5,849	△84,692
営業外収益		
為替差益	1,141	445
補助金収入	1,260	-
消費税差額金	-	1,785
その他	536	30
営業外収益合計	2,938	2,262
営業外費用		
支払利息	226	99
自己株式取得費用	-	177
営業外費用合計	226	277
経常利益又は経常損失(△)	8,561	△82,707
特別利益		
新株予約権戻入益	415	-
特別利益合計	415	-
特別損失		
特別退職金	1,044	-
特別損失合計	1,044	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	7,931	△82,707
法人税、住民税及び事業税	1,582	572
法人税等調整額	3,801	△30,184
法人税等合計	5,384	△29,611
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,547	△53,095

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。